

平成29年度天皇杯受賞者受賞理由概要
農産・蚕糸部門

中山間地域での多品種栽培を活かした安定生産と周年型大規模経営の展開

○氏名又は名称 有限会社 グリーンファーム清里（代表 保坂 一八）

○所在地 新潟県上越市

○出品財 経営（水稻）

○受賞理由

・地域の概要

上越市は、新潟県南西部、北信越地域の中央の日本海に面しており、冬期は降水量が多く快晴日数が少ない典型的な日本海型の気候である。耕地面積の9割以上が田であり、農業は水稻を主体に大豆、枝豆及びトマト等の野菜が生産されている。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

有限会社グリーンファーム清里は、地域内の耕作放棄地の発生防止と地域農業の継続的な維持・発展を目的に平成5年に設立された。水稻（主食用米、飼料用米）を主体に野菜、山菜と合わせて約137ha（28年度）の経営を展開しており、積雪2mを超える豪雪地帯の中山間地域でありながら、収益性の高い周年型大規模土地利用型経営に取り組んでいる。

・受賞者の特色

（1）中山間地農業を支える技術と地域内連携

水稻では、標高差（30～500m）を活かした多品種栽培により、作期を分散させることによる適期作業で品質・収量の安定生産を実現し、多様な実需者ニーズに応えている。また、適切な施肥設計、株間を広くとる疎植栽培、定期的なほ場調査による病害虫の発生予測による適期防除などにより、コスト削減にも取り組んでいる。さらに、地域の他法人と連携した農地の利用調整により、山間地を含めて農地を集約することで、作業を効率化している。

（2）環境保全型農業や食品安全等への取組

同社は、エコファーマーの認定を受け、農薬や化学肥料を慣行より5割以下に削減する「新潟県特別栽培農産物」の認証を取得するなど、環境保全に取り組んでいる。また「JGAP」の認証も取得し、農産物の安全性確保や作業のマニュアル化による技術の平準化等効率的な経営を実現しているほか、収穫物をロット番号で管理するトレーサビリティシステムを導入するなど、製品の品質管理を徹底している。さらに、障がい者を雇用するなど農業と福祉の連携にも取り組んでいる。

・普及性と今後の発展方向

今後も平坦地や中山間地を問わず農地を借り入れることにより、耕作放棄地の発生防止に努めるとともに、地域全体の農地を将来にわたって守っていくため、他の法人とも連携し、更なるコスト低減と作業効率の向上を図りながら、経営を発展させていく。